



松本城・歴史と文化散策ウォーク

2020.05.24 10km 短縮 8km

コースの概要

松本城駐車場下車、WC・体操を済ませてウォークスタート。松本神社を経て国宝・旧開智学校に行きます。定員が100名となり分割入場の可能性があります。その場合、グループごとの見学時間をお知らせしますのでその範囲で見学願います。見学後は松本幼稚園脇の狭い道を通り、姫宮神社に寄った後、往時をしのばせる道を常法寺小路まで歩きます。途中、首貸地蔵、高橋家住宅などの歴史的建造物が目を楽ませてください。その後は松本城公園に向かいますが、直前に北門の大井戸、北馬場柳の井戸があります。昼食は松本城公園です。松本城天守(本丸庭園内)への入場は有料です。待ち時間を考えると入場はお勧めできません。昼食後の集合場所は解散時に周知します。昼食後は女鳥羽(めとば)川沿いの繩手通りを歩きます。時間を決めてフリーウォークとしますので、四柱(よはしら)神社もこの時間内に見学してください。再集合場所は「一つ橋」手前で、担当者が居ります(地図上の⑮に近い場所)。その後は酒造会社の庭に湧出する女鳥羽の泉を見ながら惣社(そぞ)公園まで歩いてトイレ休憩となります。大ケヤキで有名な伊和神社は公園から歩いてわずかな場所にあります。そこから引き返して伊織霊水、なまこ壁の土蔵造りの店が並ぶ中町通りを経て松本城駐車場に戻りゴールになります。短縮コースは伊和神社にはゆかず、大橋を渡って中町通りを通り、ゴールに向かいます。繩手通りや中町通りをゆっくり散策します。

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

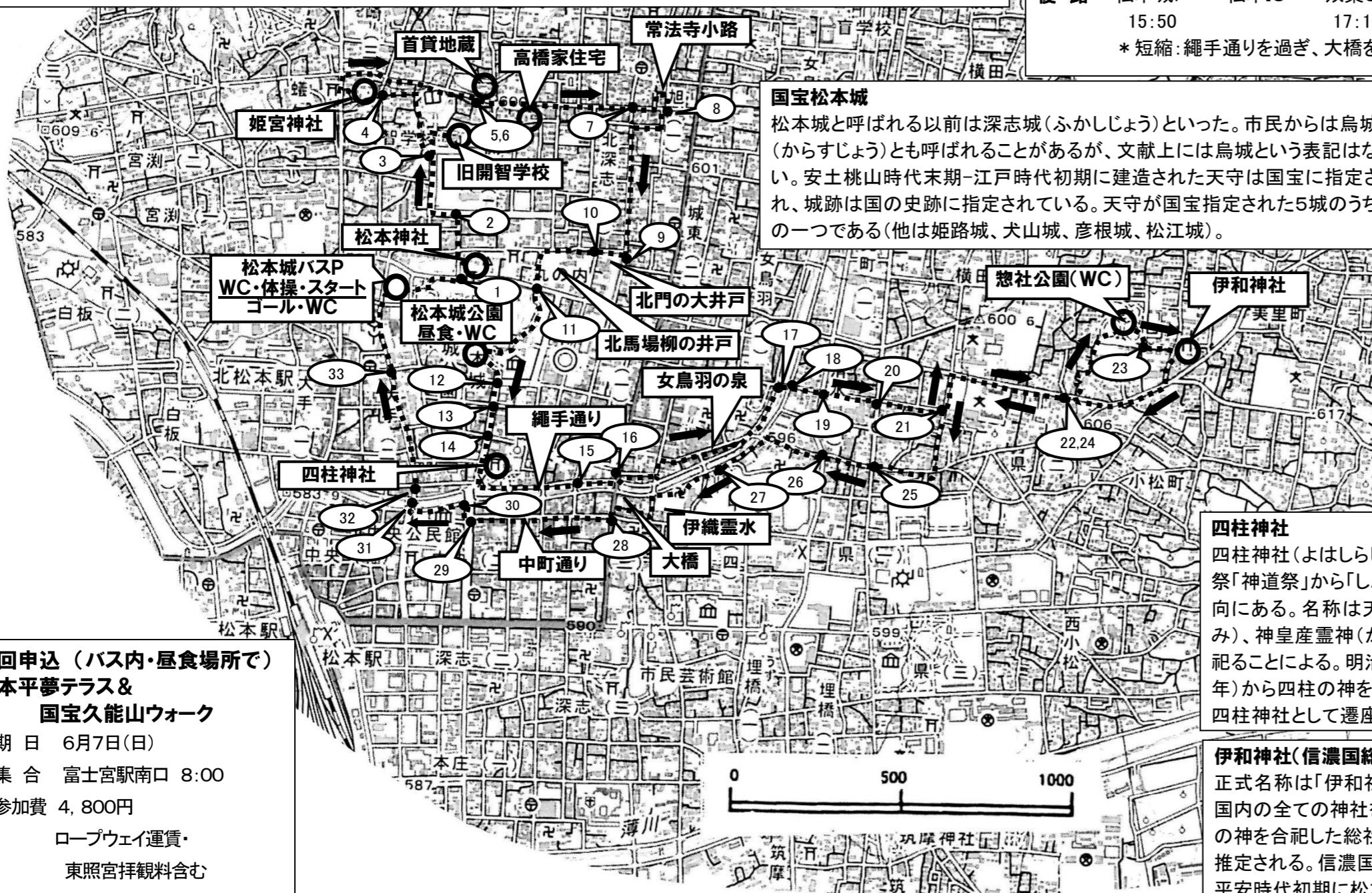
緊急時連絡

森竹 鍵治 090-3447-8597
佐田 徳子 090-4183-8330

コース

往路	富士宮駅南口	甲府南IC	双葉SA(WC)	松本IC	松本城P(WC・体操)
	6:30	7:45~8:00		9:15~35	
ウォーク	松本城P(スタート)	松本神社	旧開智学校	姫宮神社	首貸地蔵
	9:35	9:45~9:50	10:00~10:50	11:00~05	11:15~20
			11:30~40		
	常法寺小路	松本城公園(昼食・WC)	繩手通り(四柱神社)	惣社公園	
	11:45	12:10~13:00	13:10~30	14:10~20	
	伊和神社	伊織霊水	中町通り	松本城P(ゴール・WC)	
	14:25~35	15:10	15:15	15:40~50	
復路	松本城P	松本IC	双葉SA(WC)	甲府南IC	富士宮駅
	15:50	17:10~30		18:50	

*短縮: 繩手通りを過ぎ、大橋を渡って中町通りを通りゴールに向かう。(繩手通り、中町通りを長めに散策)



国宝松本城

松本城と呼ばれる以前は深志城(ふかしじょう)といった。市民からは烏城(からすじょう)とも呼ばれることがあるが、文献上には烏城という表記はない。安土桃山時代末期-江戸時代初期に建造された天守は国宝に指定され、城跡は国の史跡に指定されている。天守が国宝指定された5城の一つである(他は姫路城、犬山城、彦根城、松江城)。

国宝・旧開智学校

明治9年に完成した旧開智学校は地元の大工棟梁立石清重が設計した学校建築で擬洋風建築の代表である。文明開化の時代を象徴する洋風とも和風ともいえない不思議な建築は「擬洋風建築」と呼ばれている。令和元年9月30日の官報告示号外第126号(文部科学省告示第70号)により、正式に国宝に指定された。注目すべきは正面の車寄せ、この一点に擬洋風が凝縮されている。八角の太鼓楼と寺っぽいアーチの窓、青竜の上に雲がわきその上に二人のエンジェルが「開智学校」の旗を掲げている。1961年から国の重要文化財として指定されているが、2019年に国宝に指定された。

常法寺小路

簡単には敵を進入させない、お城下町・松本。そんな城下町の食い違いの道や鉤の手の道が残る。市内の小路松本市史によると、城下町としての町割は、三町二十四小路と呼ばれていた。小路の一つ常法寺小路は、山伏の寺、常法寺がこの通りの東側下々町の角にあったことに由来する。

四柱神社

四柱神社(よはしらじんじゃ)は長野県松本市大手に鎮座する神社である。地元では、10月の例祭「神道祭」から「しんとう(神道)さん」と呼ばれる。また地元では四柱を「しはしら」と誤読される傾向にある。名称は天之御中主神(あめのみなかぬしのかみ)、高皇産霊神(たかみむすびのかみ)、神皇産霊神(かみむすびのかみ)、天照大神(あまてらすおおかみ)を祭神とし、4柱の神を祀ることによる。明治5年(1872年)に筑摩県松本に設置された神道中教院で、明治7年(1874年)から四柱の神を祀ったことに始まる。明治12年(1879年)に現在地に社殿を造営し、村社の四柱神社として遷座した。明治21年(1888年)の松本大火で社殿を焼失し、大正13年(1924)

伊和神社(信濃国総社)

正式名称は「伊和社(いわしゃ)」であるが、一般には「伊和神社」と表記される。古代、国司は各国内の全ての神社を一宮から順に巡拝していた。これを効率化するため、各国の国府近くに国内の神を合祀した総社を設け、まとめて祭祀を行うようになった。当社はそのうちの信濃国の総社と推定される。信濃国の総社は、古くは信濃国分寺・信濃国分尼寺の立つ上田市付近にあったが、平安時代初期に松本市に移ったと考えられている。

次回申込(バス内・昼食場所で) 日本平夢テラス& 国宝久能山ウォーク

- ☆期日 6月7日(日)
- ☆集合 富士宮駅南口 8:00
- ☆参加費 4,800円
- ロープウェイ運賃・東照宮拝観料含む
- ☆切 6月2日(火)